

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

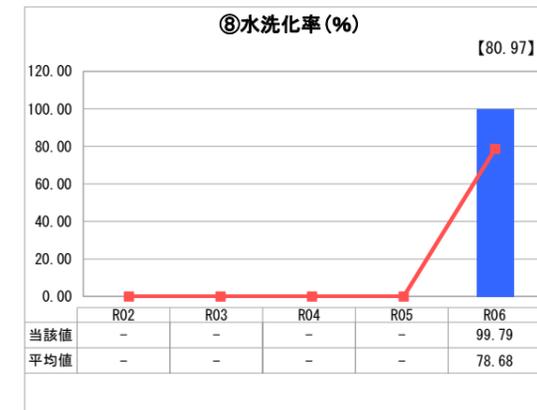
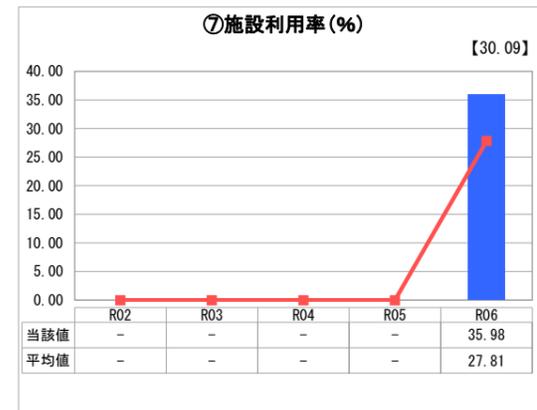
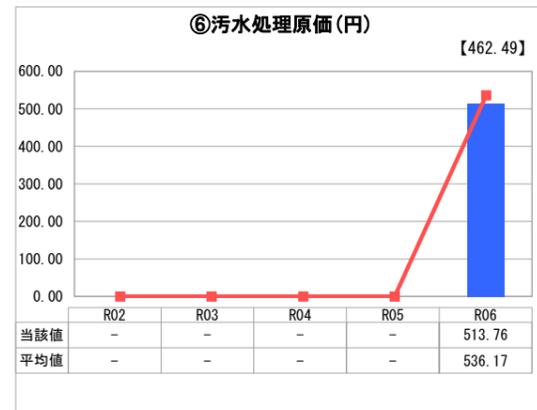
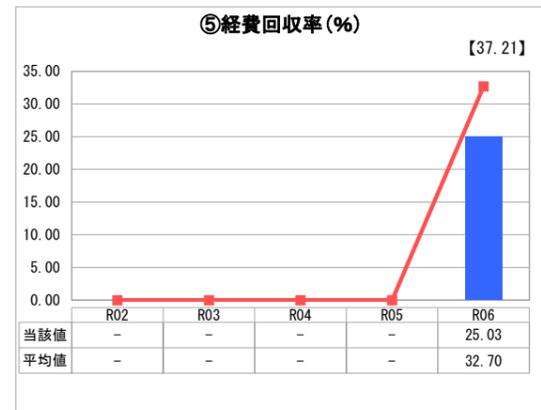
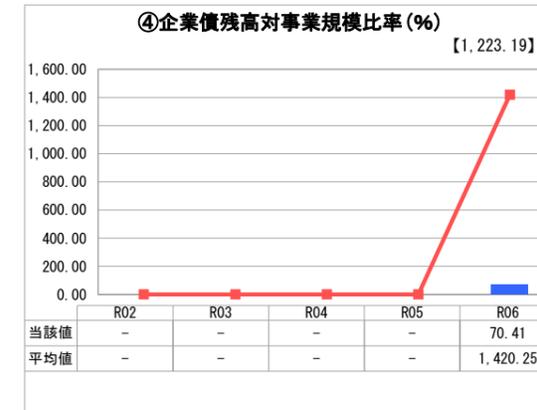
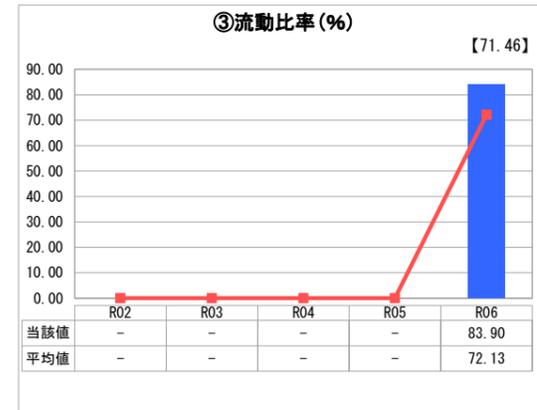
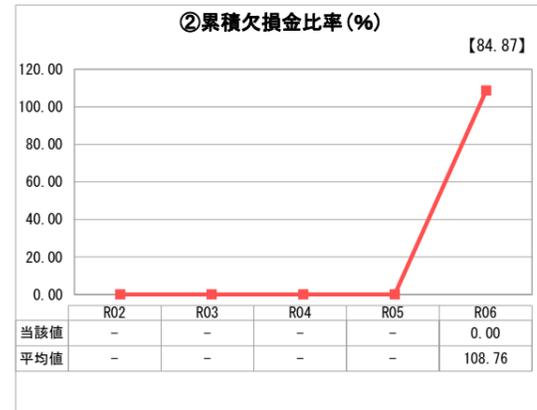
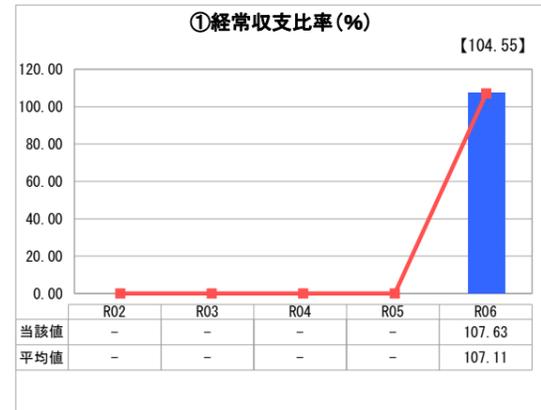
佐賀県 太良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	83.45	6.03	100.00	3,300

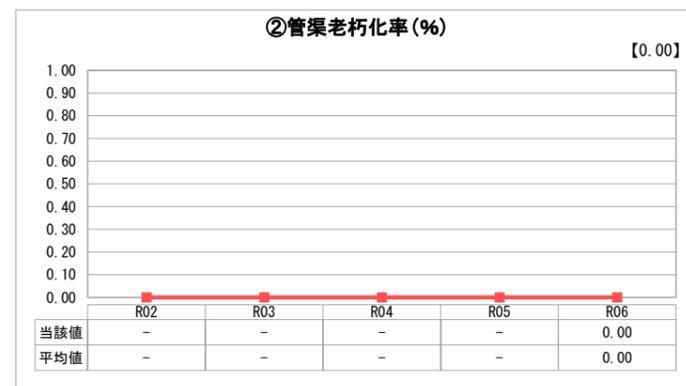
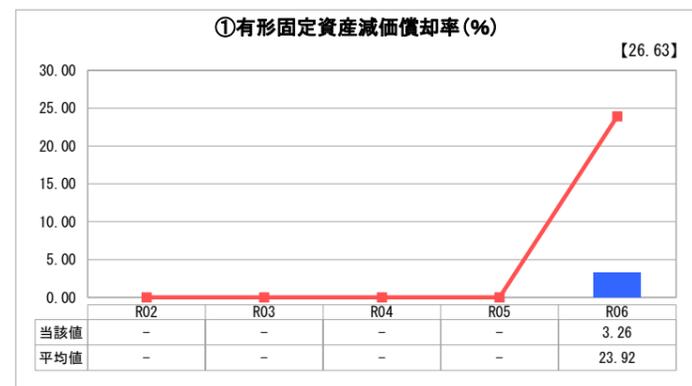
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,874	74.30	105.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
470	0.16	2,937.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○令和6年4月1日から地方公営企業法の一部を適用し、太良町漁業集落排水事業会計を設置した。

○流動比率が低いことから短期的な経営課題を示しているが、漁業集落排水使用料で汚水処理費を賄うことができていない。一般会計からの繰入金なしには事業経営できない経営状況である。

○利用率、経費回収率も低いことから事業の収益性や効率性には課題がある。区域内人口の増加は見込まれないことから長期的な視点で運営体制の改善が求められるが、漁業集落排水処理施設の対象区域の竹崎地区以外は合併浄化槽の設置を促進しているので広域統合はできない状況である。

### 2. 老朽化の状況について

○管渠においては、耐用年数に達しておらず設備の状態は良好である。処理場施設は、機能保全計画に基づき計画的な機器更新行い長寿命化を図っている。

### 全体総括

○維持管理費を一般会計繰入金で賄っている状況が続いている。今後も更なる維持管理費の削減や見直しに努めると共に、料金収入の見直し等も視野に入れて検討する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。